

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	発達支援室長 田中 香織
こども-27 あおぞら園管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 発達支援室
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 こどもみらい課・保育課・こども相談課・市民健康課・教育指導課
総合計画上の位置付け	分野 子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援

1 事業の目的

2 平成26年度に実施した事業の概要

対象	発達に特別な支援を必要とする児童	発達に特別な支援を必要とする児童に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的な生活習慣や社会性の発達を援助した。 あおぞら園の管理及び通園バスの運行に係る経費を執行した。
意図	児童発達支援センターにおいて、日常生活における基本動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供するため	
効果	発達に特別な支援を必要とする児童が住みなれた地域社会の中で、普通に暮らしていけるようにするため、自立に必要な能力の育成を図り、社会への適応性を身につけていくこと	

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
人口等のデータ	人口	人口	177,243人	・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	世帯数	80,676世帯	
	事業の対象者数	事業の対象者数	6,272人	
運営資源状況	当初予算(千円)	決算値(千円)	58,106	
	国県支出金	国県支出金	10	
	地方債	地方債		
	その他	その他	58,096	
	一般財源	一般財源	0	
	人員配置数	人員配置数	17.0	
事業費運営	人件費(千円)	人件費(千円)	130,295	・事業の対象者数(H26・6,272人、H25・6,507人、H24・5,990人、H23・6,013人)
	総事業費(千円)	総事業費(千円)	188,401	
	市民1人当りの経費(円)	市民1人当りの経費(円)	1,063	
	対象者1人当りの経費(円)	対象者1人当りの経費(円)	30,038	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	児童発達支援センターあおぞら園は改正児童福祉法により、平成24年度から地域の中核的な療育支援施設として、今まで以上に保育所等への支援や相談支援を行っていくことが求められており、現在あおぞら園を含めて発達支援室がその役割を担っているところであるが、今後、ライフステージに応じた一貫した支援を継続的に推進していくための人材育成機能も含めてその機能の更なる強化が必要である。		
課題解決のために行った平成26年度の取組	児童発達支援センターあおぞら園では、専門性を高めるため人材育成、職員研修プログラムに基づいた園内職員研修を行い、他期間職員及び実習生の受け入れを積極的に行ってきた。また、児童発達支援センターあおぞら園における支援が、ライフステージに応じて継続していけるよう、幼稚園や小学校との引継ぎを行い、連携を図ってきた。		<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	児童発達支援センターあおぞら園は、障害児支援の拠点施設として、今後も専門性を高め、民間の児童発達支援事業所との連携や情報共有を図り、市全体としての障害児支援のスキルアップに取り組んでいく。また、事業内容の充実や効率的な事業運営の視点を踏まえ、市民等との協働による実施に向けた検討を行っていく。		
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能	
	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
公平性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
			協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの 事業へ統合
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	
総評	事業内容は現状通り及び予算規模は現状維持とするが市内に民間の児童発達支援事業所が増設されていることをふまえ、鎌倉市における障害児支援の拠点施設として、民間事業所との連携をはかるとともに、専門的な立場からの助言や障害児支援に関する情報提供などを行っていく。また、事業内容の充実や効率的な事業運営の視点を踏まえ、市民等との協働による実施に向けた検討を行っていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									
------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容及理由	延べ利用件数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
平成23年度より、指標の目標値を「定員(30人)の過去3年間の開園日数(事務事業運営経費の備考欄に記載)に対する出席率に、当該年度の定員(30人)×開園日数を乗じて得た数」としている。	目標値	6,270.0	6,210.0				
	実績値	6,272.0					
	達成率	100.0%					
・開園日数(H27年度(予定)・227日、H26年度・230日、H25年度・228日、H24年度・228日、H23年度・223日)							

指標の内容及理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容及理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容及理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容及理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方									
-------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---